

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 038	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 施設切花栽培における農薬使用量の軽減	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 切花は茎葉部分も含めて出荷されるため、防除圧を高くする必要があることから、農薬散布回数、使用量が多い。環境負荷軽減、薬剤抵抗性の発達阻止、経営コストの削減さらには栽培者の健康に配慮し、農薬使用量の軽減を図る必要がある。特にハダニ、アザミウマ類等微小害虫について、他作物で進む新たな防除技術等の施設切花への適応について研究を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	微小害虫への農薬散布の代替策として、施設開口部へのネット展張、紫外線ライト照射によるハダニ類防除、近紫外線除去フィルムによるオンシツコナジラミの移動制御、赤色LEDライト点灯によるアザミウマ類防除等の技術があり、マニュアルがHP上で公開されているものもありますので、これらの知見を活用して普及指導部署で現地指導します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	参考資料：光を利用した害虫防除のための手引き（2014年7月 農研機構） 光で花の病害虫を抑制する 紫外線光源の利用の可能性（2014年3月 農研機構）		